

令和2年度 県立北山高等学校学校評価(自己評価・学校関係者評価)様式

1 学校の教育目標
①全職員の相互理解と協働体制のもと、直面する喫緊の課題の解決・改善に努める。②希望進路の実現を図るとともに、豊かな人間性や社会性を身につけ、心身ともに健全な生徒を育成する。③教職員の資質・能力及び授業実践力の向上を目指す。④家庭や地域及び関係機関と連携した開かれた学校づくりと活性化を図る。⑤学校事務の適正な管理・運営に務める。

2 本年度の重点目標
①凡事徹底を奨励し、基本的生活習慣及び望ましい学習習慣の形成・定着を図る。②教職員相互の授業観察を促進し授業力の向上を図り、成績優秀者各学年40名以上を目指す。③単位保留者及び退学者数ゼロを目指す。④進路の早期決定を促し、進路決定率96%以上、国公立大学合格10名以上、就職内定率100%を目指す。⑤心身の健康教育を推進し、別室登校ゼロ、保健室来室420件以下を目指す。⑥教職員相互の信頼関係の構築と風通しの良い職場づくりに努める。⑦教職員の校内外研修を奨励し自己研鑽の充実を図る。⑧担当する校務及び学校事務処理等を適切に遂行する。⑨PTA、同窓会、地域との連携を強化する。⑩服務規律遵守の徹底を図る。

3 前年度の成果と課題
成果：①国公立大学6名、進路決定率91.3% ②就職率100% ③普通科定員の確保 課題：①理数科定員の確保 ②新共通テストに向けての取組 ③習熟度別クラスの効果的指導

評価 A 達成できた B ほぼ達成 C あまり達成できていない D 達成できていない

4 評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価			令和2年度の課題	令和3年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者からの要望
			1学期	2学期	年間				
教育目標	①教育活動全体の活性化	①校訓「自主・自律」「友愛・協同」の精神を育む ②豊かな人間性、健全な生徒の育成 ③学校行事・生徒会活動の活性化	B A B	B A B	B A B	・「校訓」を意識した教育活動	・本校教訓を各行事等時に呼びかけていく。	B B B	・新型コロナの収束後には、PTA活動を行いたい
教科指導	①学習活動の計画的実施 ②授業力の向上 ③学習評価の適正化 ④家庭学習の習慣化	①シラバスによる授業実践 ②実態に応じた授業の工夫・改善 ③定期考査・提出物・授業態度等による適正評価 ④日々課題・週末課題によるサポート	B A A B	B A A B	B A A B	・家庭学習の習慣化 ・「主体的・対話的な深い学び」の実践	・家庭学習の習慣化を図るための各教科の取組 ・「主体的で対話的な深い学び」の授業実践	B B B B	・学習習慣の確立が必要である。 ・週末課題は助かります。
生徒指導	①基本的生活習慣の確立 ②問題行動の未然防止 ③いじめの未然防止 ④身なり・マナー指導の充実 ⑤自治活動の充実	①挨拶運動、遅刻・欠課・欠席指導の教科 ②集会及び講演・訓話を通じた啓発活動 ③いじめアンケート等によるいじめの未然防止の取組 ④その場指導の徹底 ⑤生徒会・委員会活動の活発化	B A B B B	B A B B B	B A B B B	・学校生活における基本的生活習慣の確立 ・生徒指導等における問題未然防止活動	・遅刻指導や身なり指導等を徹底する。 ・いじめ未然防止を継続して取り組む。	A A B A B	・全体的に指導は行き届いていると思います。 ・北山生は挨拶が素晴らしい。
進路指導	①進路情報発信 ②進路目標の早期決定 ③模試・各種検定の充実 ④各種講座の充実	①進路便りの発行や進路研究会の開催 ②総合的学習の時間の利用や三者面談の有効利用 ③模擬試験・各種検定受検サポートと事前事後指導 ④早朝講座、夏休み講座、個別指導の実施	B B B A	B B B A	B B B A	・進路決定の向けの早期取組	・各講座等の効果的・効果的な取り組みを実施する。	B B B B	・早期に進路決定を促してほしい。
部活動・PTA地域活動等	①部活動の活性化 ②学校施設・設備の充実 ③PTA活動の充実	①顧問・家庭の連携による部活動の活性化 ②学校施設・設備の点検及び整備・充実 ③PTA及び各種委員会の積極的取組	B B B	B B B	B B B	・部活動加入率の向上 ・施設、設備の点検 ・PTA活動の向上	・部活動加入率の向上 ・施設・設備充実 ・PTA活動への参加	B B B	・PTA活動ができるようになることを期待しています。

